

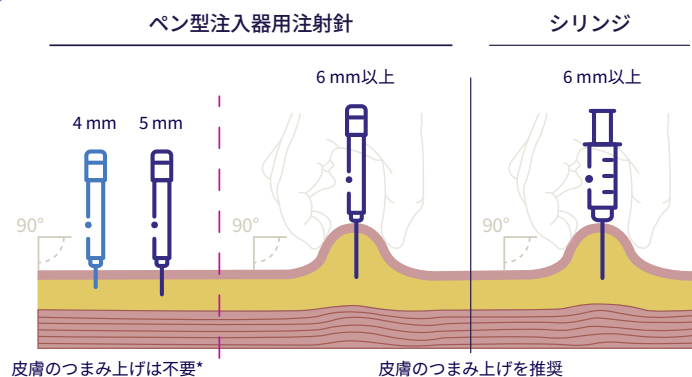
注射手技の推奨事項



FITTER Forwardは、
最先端の糖尿病ケアを
反映する最新の
推奨事項を
提供します

器材の角度と皮膚のつまみ上げ

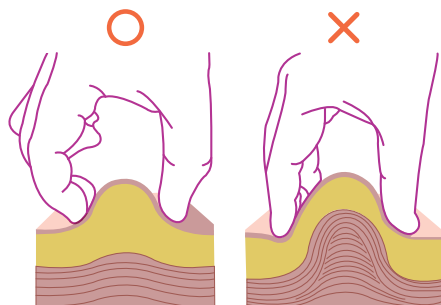
- 注射針の長さに関わらず、90°(垂直)に刺入することが推奨されます
- 4~5 mmの注射針: 多くの場合、皮膚のつまみ上げは必要ありません*
- 6 mm以上の注射針: 皮膚のつまみ上げが推奨されます



* BMIが低い(<19 kg/m²)人、除脂肪体重が低い人、または6歳以下の小児には、皮膚のつまみ上げが推奨されます

つまみ上げた皮膚への注射

- 1 皮膚を5cmほど、あまり圧力をかけずにそっとつまみ上げます
- 2 つまみ上げた皮膚の表面に対して90°の角度で注射針を刺入します
- 3 プランジャーを最後まで押し下げてから、10数えます
- 4 90°の角度で注射針を引き抜きます
- 5 つまみ上げていた皮膚を離します
- 6 使用済みの注射針を安全に廃棄します



右図のように、手全体を使って皮膚をつまみ上げることは避けてください

患者の生理学

皮下(SC)層の厚さ

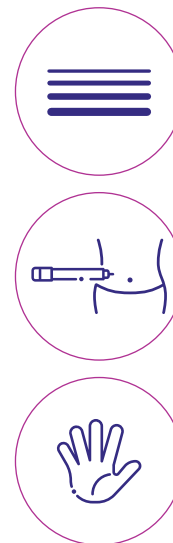
- 皮下層の厚さは非常にばらつきがあり、解剖学的部位によっても異なり、年齢、BMI、性別、妊娠状態の影響を受けます
- 皮膚のつまみ上げは、高齢患者、小児、BMI/除脂肪体重が低い人など、皮下組織が少ない人に推奨されます

注射部位の選択

- リポハイパートロフィーや瘢痕、入れ墨、皮膚病変のある部位への注射は、インスリンの吸収を変える可能性があるため、可能な限り避けるべきです

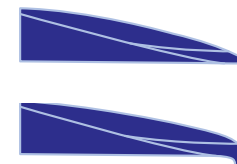
器用さ/運動能力

- 注射器材を組み立てて使用することができる器用さが必要です
- 複数の注射部位に手が届く能力も必要です



注射針の再使用と廃棄

- 鋭利でなくなった注射針による疼痛を防ぐため、注射針の再使用は避けてください
- 注射針やシリンジは、必ず認定された廃棄容器を使用し、地域のガイドラインに従って廃棄してください



注射時のインスリンの温度

冷たいインスリンの注射は避けるべきです
リポハイパートロフィーのリスクを低減し、
注射時の苦痛を軽減するために、室温が望ましいです



こちらから全文を
読むことができます:



エムベクタはFITTER Forwardを支援しています

Advance Insulin Injection Technique and Education With
FITTER Forward Expert Recommendations. Klonoff, David C. et al.
Mayo Clinic Proceedings, Volume 100, Issue 4, 682-699.